

人工妊娠中絶の方法

電動式吸引法

- 従来よりある方法です。熟練した母体保護法指定医師が行います。
 - 静脈麻酔をかけて寝ている間に手術をします。
 - 日帰りの処置となります。
 - 処置後に痛みが出現します。鎮痛薬を使用します。
 - 子宮損傷の危険があります。（当院院長は一度もありません。）
 - 費用は15万円くらいです。
 - 処置後、感染、異常子宮出血を認める場合もあります。
-
- どのような方に勧めるのか？
 - 日帰りを望む方
 - 子宮に異常のない方
-
- 何週まで対応可能か？
 - 11週6日までは対応可能です。
 - 10週以降は1泊入院となり費用は20万円くらいになります。

経口薬内服法

- 世界標準の方法ですが最近、日本でも認められました。
 - 2種類の薬を内服、口腔内投与します。
 - 第1薬を内服後、36～48時間後に第2薬投与時は院内待機（入院扱い）となります。
 - 内容物排出前に痛みが出現します。（強めの月経痛くらい）鎮痛薬を使用します。
 - 子宮損傷の危険はほぼありません。（自然排出されるからです。）
 - 費用は15万円くらいです。ただし24時間以内に自然排出が認められない場合は電動式吸引法に変更しますので5万5千円追加になります。約93%は24時間以内に自然排出が認められます。
 - 処置後、感染、異常出血を認める場合もあります。
-
- どのような方に勧めるのか？
 - 身体に負担のない方法を望む方
 - 帝王切開の既往がある方
 - 子宮に異常がある方（筋腫、強い後屈など）
-
- 何週まで対応可能か？
 - 第1薬内服時点が9週0日までの方です。
 - 週数が大きいほど排出時の出血量は多くなります。